



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関 2 8 2

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

開かれた学校をめざして
- Face to Face で -

校長 澤田 純一

新年度が始まり、1カ月が経ちました。新入生を始め2、3年生も元気に学校生活を送ってくれていることを、大変うれしく思います。

なお、今回の学校だよりは、保護者の皆さんに向けて書きましたので、よろしくお願いたします。

さて、この1月間、生徒一人ひとりの様子を見て回りました。そこで大中生の良さは、明るく素直であること、正直で心が真っ直ぐなこと、そして、友だち同士仲の良いことであると感じました。特に、部活動をしているときの表情は生き生きと輝いており、何にも代えがたいものであると強く印象に残りました。そして、その姿はまさしく「子どもは未来からの贈り物」であることを実感するとともに、学校の背負う責任の重さを改めて考えさせられた時もありました。

一方、心がきれいで良い生徒ばかりの大中生も、その行動や態度がいつも正しいとは限りません。例えば朝礼での集合が遅いこと、私語が多いこと、そして、そのことを指導しても改善に時間がかかることが挙げられます。

こんな諺があります。

「人を教うる者は、その善心を養えば、悪自ずから消ゆ」－ 中国「近思録」－

教育方法の不易のポイントは、子ども一人ひとりのよいところを認め、誉め励まして、伸ばすことを主として、その悪いところを叱り、気付かせ、正すことを従として導くことにあります。「7つほめて3つ叱る」は、子育ての王道ですが、昨今は、叱られていない子が増え、叱られると極端に落ち込んだり、相手の非を主張して自分を正当化しようとする子もいます。また、叱られてはいるけれども、きちんと叱られていない子が増えているようにも思います。

子どもは褒められたり叱られたりする経験を通して、物事の善悪、正直な心の安心感、相手の気持ち、コミュニケーションのとり方を学び、自己の価値基準を形成していきます。

よって、今後は学校と家庭が一層協力し、将来日本を背負っていく大中生を共に育てていく姿勢が大切であると強く感じました。

時として、子育てには、苦労や心配がついて回ります。

本校の昨年度の教育相談件数は、52件でした。電話や連絡帳等での応対・相談は、さらに多くなります。100点満点の対応ができていない点を校長として反省しています。

そこで今年度は、「Face to Face」顔を合わせて話をしていきましょう。各担任の心と校長室のドアは、いつも開いています。